

平成28年第3回下仁田町議会定例会会議録第1号（6日）

招集年月日	平成28年9月6日					
招集の場所	下 仁 田 町 議 会 議 場					
開閉会日時 及び宣言	開 会	平成28年 9月 6日午前10時00分			議 長	佐藤 勇二
	閉 会	平成28年 9月 16日午前10時20分			議 長	佐藤 勇二
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席 11名 欠席 名 欠員 名 凡 例 ○ 出席を示す △ 欠席を示す × 不応招示す	議席番号	氏 名	出席等の別	議席番号	氏 名	出席等の別
	1	岡 田 邦 敏	○	7	佐 藤 博	○
	2	永 井 正 之	○	8	佐 藤 勇 二	○
	3	木 暮 弘 元	○	9	千 野 榮 治	○
	4	原 秀 男	○	10	島 崎 紘 一	○
	5	岩 崎 正 春	○	11	堀 口 博 志	○
				12	岡 田 武 二	○
会議録署名議員	3番	木 暮 弘 元	4番	原 秀 男		
職務のため議場に出席したものの氏名	事務局 長	樋 口 令 子		書 記	小 井 土 直 也	
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町 長	金 井 康 行		保健環境課長	猪 野 馨	
	副 町 長	吉 弘 拓 生		農林商工課長	岡 野 弘 行	
	教 育 長	茂 木 学		観 光 課 長	林 通 典	
	総 務 課 長	神 戸 哲		建設ガス水道課長	神 戸 宏	
	地 域 創 生 課 長	永 井 邦 佳		教 育 課 長	大 河 原 順 次 郎	
	住 民 税 務 課 長	堀 口 玲 子				
	会 計 課 長	(住民税務課長兼務)				
	健 康 課 長	荻 野 英 雄				

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 一般質問

会 議 の 経 過

開 会 平成28年9月6日 午前10時00分

○議長 佐藤勇二 ただいまから、平成28年第3回下仁田町議会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

○議長 佐藤勇二 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、3番 木暮弘元君と、4番 原秀男君を指名いたします。

○議長 佐藤勇二 続いて、日程第2、会期の決定を議題といたします。
本定例会の会期については、さきの議会運営委員会で本議会の運営等について協議がされておりますので、その結果について、報告を求めます。議会運営委員長

(島崎紘一議会運営委員長 登壇)

○議会運営委員長 島崎紘一 おはようございます。
議長のご指名がありましたので、議会運営委員長報告を申し上げます。
去る8月29日、午前10時から委員会室303において、議会運営委員会を開催し、本定例会の会期、日程及び議案の取り扱い等の議会運営に関する事項について、協議をいたしましたので、その経過と結果についてご報告申し上げます。

まず、会期につきましては、本日から9月16日までの11日間とし、審議日程につきましては、お手元に配付されている日程表のとおりであります。

本日は、会期の決定の後、町長のご挨拶をいただきます。その後、一般質問を佐藤博議員が行います。また、一般質問終了後は、全員協議会を開催し、

今定例会に提案されております議案等の細部にわたる説明をいただきます。

7日は、引き続き全員協議会を開催させていただきます。

8日は、休会といたします。

9日は、午前10時より本会議を開催していただき、報告第4号から報告第7号の報告の後、第59号議案から第63号議案までの提案者の説明、質疑、討論、採決を行います。

次に、第64号議案から第69号議案の補正予算については、提案者の説明、質疑の後、予算決算特別委員会に付託をいたします。

続いて、第70号議案から第76号議案の決算認定については、提案者の説明の後、監査委員から監査結果の報告をお願いし、質疑終了後、予算決算特別委員会に付託をいたします。

10日及び11日は、休日につき、休会とさせていただきます。

12日及び13日は、予算決算特別委員会を開催していただきます。

14日及び15日は、委員会予備日といたします。

16日最終日は、本会議を開き、予算決算特別委員長から予算決算特別委員会審査の報告を受けた後、第64号議案から第76号議案に対しての討論、採決を行い、全日程を終了する予定でございます。

この会期、日程等にご賛同を賜り、円滑な議会運営ができますよう議員各位のご協力をお願い申し上げまして、報告といたします。

よろしく申し上げます。

○議長 佐藤勇二 お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員長報告のとおり、お手元に配付の日程表により、本日から9月16日までの11日間にしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 佐藤勇二 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から9月16日までの11日間と決定いたしました。

○議長 佐藤勇二 続いて、町長から定例会招集の挨拶を願います。町長
(金井康行町長 登壇)

○町長 金井康行 平成28年第3回下仁田町議会定例会開会に当たりまして、ご指名を賜りましたので、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、議員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、定例会にご参集いただきましてありがとうございます。

ことしの夏は、リオデジャネイロのオリンピックが開催されて、国民に大きな感動と勇気を与えていただきました。

日本選手の活躍は目覚ましく、選手の皆さんに大きな拍手を送り、心からお祝いを申し上げるとともに、この勢いは、次回開催の東京オリンピックにつながることを期待いたします。

オリンピック終了から、台風の接近が相次ぎました。幸い、下仁田町では大きな被害も出ておらず、ほっとしているところでございますが、台風シーズンはまだまだ続きますので、防災意識を高めてまいりたいと思います。

さて、本定例会には、報告4件に加え、下仁田町等公平委員会委員の選任について、条例改正等についての議案を5件、平成28年度の各会計補正予算、平成27年度の各会計決算認定など、第59号議案から第76号議案までの18議案をご提案申し上げます。

大変ボリュームがございますが、いずれの案件につきましても、後ほど担当課長からご説明を申し上げますので、よろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

平成28年第3回議会定例会開会に当たりましてのご挨拶といたします。
本日は大変ご苦勞さまでございます。

○議長 佐藤勇二 次に日程第3、一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。佐藤博君

(佐藤博議員 一般質問席へ)

○7番 佐藤博 議長のお許しを得ましたので、これより一般質問を行います。

まず、危機管理体制について。9月1日は防災の日ということで、南海トラフを想定して、安倍総理大臣の指揮のもとで防災訓練を行った様子が、テレビで放映されておりました。

さて、下仁田町においては、防災速報、気象警報、災害情報、土砂災害警戒情報、大雨洪水警報等々の各種の情報を受けて、どのような対応をされているのか、まず総務課長さんにお尋ねをいたします。

(発言する声あり)

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 お答えいたします。

各種警報等の情報を覚知いたしましたら、総務課長及び地域安全係は、各課長等に周知を行います。

その後、情報等の収集に当たりまして、また、災害警戒本部の設置を協議

いたします。

災害警戒本部を設置いたしましたら、引き続き情報収集を行い、本部長・副本部長と災害対策本部の設置について協議し、また、初期動員の対応を検討いたします。

災害対策本部を設置しましたら、1号動員、2号動員または3号動員の全職員を招集し、各課・各班の分掌事項に基づく災害対策活動を行うこととなります。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 これについては、夜間・休日を含めて、マニュアル化されていると受けとめてよろしいですか。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 防災計画・震災計画は作成してございまして、マニュアル化はしてございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 中央構造線、下仁田町を通っているということを発見して驚きました。

このことを正しく学ぶために、8月26日に、下仁田自然学校運営顧問の小林忠夫先生にお願いして、中央構造線について正しくセミナーを開催をいたしました。

小林先生は、川井の断層は1万年前よりも新しく、したがって活断層と言えるのではないかと、思う。となると、再び動く可能性があると言及されました。

2011年3月の宮城県沖の地震に始まり、本年4月には九州での地震、8月にはイタリア、ミャンマーと続いております。世界的にも活動期に入ったと考えるべきと話されました。

9月3日には、下仁田町自然史館において災害講座が開かれましたが、備えあれば憂いなしのことわざどおり、万が一に備える努力をすべきと考えます。

総務課長さんにお伺いいたしますが、災害時に対応するマニュアルはあるのか、お伺いいたします。

また、実際に災害が起きたときの対応は十分であるかどうか、この2点、お願いいたします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 先ほど申しましたように、防災計画・震災計画につきまして、

災害時に対応するマニュアルはできてございます。

それで、そのマニュアルに従いまして、災害時の各種活動について、職員全員力を合わせまして活動を行っておるわけでございますので、十分かと思えます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 近年は、タイムライン、いわゆる先を越した防災計画、万が一に備えるということを求められております。

ぜひ、職員さん、地域の皆さんを含めて、時系列で合意をしておいていただきたいというふうにお願いを申し上げます。

次に、6月15日の早朝メールです。

爆破予告とも受け取れるメールに対する対応について、当日の対応をまとめて短くご答弁いただきたい。総務課長さん、お願いします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 お答えいたします。

当日、情報管理係の職員が出勤し、メールをチェックしたところ、2時50分送信の爆破予告ととれるメールを発見いたしました。

9時ごろに、職員による身の回りの点検を行うと同時に、下仁田交番に相談に伺いました。

ですが、富岡署での対応となるとのことで、そちらへ行くよう指示がございまして、富岡署へは9時40分ごろ相談に伺いました。

下仁田交番から連絡を受けた富岡署から署員が駆けつけ、役場職員と一緒に、3階から順次、不審物がないかの確認を行いました。

また、他の公共施設につきましても、職員による点検を行いまして、安全を確認した報告を受けてございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 今の答弁の中で、9時ごろ下仁田交番に伺った、9時40分に富岡署へ。下仁田交番ではその対応ができなかったということございまいしょうかね。

こういった危機管理に対する対応について、やはりもうちょっと点検というか、きちんとしたマニュアルを作成しておく必要があるのではないかと私は思うのですが、その後3カ月が経過いたしました。

その後において、マニュアルの作成はされたのかどうか、総務課長さん、お願いいたします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 マニュアルの作成につきましては検討中ですが、このようなケースは初めてでございます。今後は、戸惑うことなくスムーズに行動できるよう関係機関と相談し、また、現在、防災計画等の見直しを行っているわけですが、それとあわせてマニュアルを作成したいと思っております。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 警察署との連携を深め、地域住民、職員の皆さんの命を守るという、こういう思いでのマニュアル化、さらには時系列で合意しておくことが求められていると思います。

今、作成中だということの答弁をいただきましたので、次に進みますが、しっかりとしたものを仕上げていただきたい、その中間では、ぜひ議会にも報告を願いたいとお願いをしておきます。

3点目については、町営住宅の鍵の管理、これは現在どのようにされているのか、建設課長さんにお伺いしたい。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 お答えいたします。

現在、下仁田町の公営住宅は、町内に10団地ございます。そのうちのしらかば、吉崎、緑ヶ丘、東の4団地に管理人制度を設けており、1団地1名、合計4名の管理人に、町営住宅の共同施設や修繕箇所の状況報告、団地のみの書類の配布、回収、ほか、鍵の管理を委託しております。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 管理人さんに管理をお願いするのはともかくとして、鍵を預けるというのは、入居者の皆さんは心理的にはいかななものかと私は思うのですが、課長さん、この辺いかがお考えでしょうか。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 確かに、合い鍵を預かっているのは、管理人自体も負担に感じるということが予測されますので、今後、鍵の管理は、建設ガス水道課のほうで行うべく、現在、回収に動いております。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 いかに管理人さんといえども、管理人が鍵を持っているとなると、そこに住む皆さん、私でしたら不安です。こう思います。

ぜひ、今後においては、しっかり課長の手元に置いて管理をいただくよう、お願いを申し上げておきます。

続いて、スマホ全戸配布計画についてお伺いをいたします。

その前に、1、2点確認いたしますが、現行での戸別受信機の設置数、あわせて下仁田インフォメールの登録数を発表願いたい。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 難聴地域などの防災無線の戸別受信機の設置数は661個でございます。

また、下仁田インフォメールの登録数につきましては、666名でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 ありがとうございます。

下仁田インフォメール、2,000人の登録を正規にできるよう、ひとつ努力を願いたい。

特に、ガラケーの携帯をお持ちの方について、iモード契約をされていないと下仁田インフォメールの登録ができません。こういう方が結構大勢いらっしゃいます。

月額にして300円ということですがけれども、契約をお勧めして、インフォメールを受信できるよう、簡単な説明書をつくってでもPRをしてほしいと思います。

次に行きます。

現行での歩数計の配布数と、緊急通報システムの配布数についてお知らせいただきたい。

○議長 佐藤勇二 保健環境課長

○保健環境課長 猪野馨 ただいま、歩数計の配布数ということとして質問ございましたが、これはタニタ健康プログラムということで解釈いたします。

これにつきましては、9月3日から80人を対象に教室を開催しているところでございます。

○議長 佐藤勇二 健康課長

○健康課長 荻野英雄 あわせて、緊急通報装置の設置件数でございますが、8月末時点で高齢者世帯62台を設置してございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 実証事業が終了したようであります。

集計資料から得られたことは何でしょうか。町長さんにお伺いをしたい。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 スマホの関係につきましては実証事業を終了いたしまして、現在把握しているところの数値につきましては、担当課長のほうから、ご説明

を申し上げます。

○議長 佐藤勇二 健康課長

○健康課長 荻野英雄 お答えさせていただきます。

実証事業につきましては、6月末をもちまして終了したところでございます。

当初の計画におきまして、配布予定者を285名としておりました。しかしながら、キャンセル等もございまして、最終的には174名の方に参加をしていただきました。

現在、事業に参加をしていただきました方からのアンケート集計、またデータの分析等、事業の検証を行っているところでございます。

アンケートにつきましては、実証事業の参加の174名中の144名の方から回答をいただいております。

検証途中でございますが、アンケート使用データ等から、現時点で見えてきたことにつきまして、プラス面、マイナス面を含めまして、何点かご報告をさせていただきます。

まず、高齢者の60歳代から70歳代の約7割の方は、スマホを利用できているということでございます。

それと、安否確認の参加者93名中71名、76%に当たりますが、71名の方は災害時に有効であると回答をされてございます。

また、ふるスマチャンネルの配信情報を、高齢者の方は大変便利と感じているということでございます。

それと、既にスマホや携帯電話を持っている場合、2台持ちについては不便であるというご意見がございました。

また、電池の持ちが悪く、毎日の充電は大変で、緊急時に不安であるということでございます。

それと、最後でございますが、高齢者の方からは、スマホの使用方法を覚えるのが大変ということが多くございました。

アンケートでは、その他にもさまざまな意見がございました。これらのご意見を踏まえまして、現在、検証を進めておるところでございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 これまでの集計や、また視察団への配布資料等の作成はどこで行ったのか、お伺いします。

○議長 佐藤勇二 健康課長

○健康課長 荻野英雄 お答えさせていただきます。

実証事業にかかわります資料等につきましては、健康課高齢対策係で作成をしてございます。

また、その経費の関係でございますが、費用についての試算は特にしてございませんが、資料に使用しました用紙や印刷費等の事務費につきましては、数量等の確認をすれば、概算金額の算出が可能です。

しかしながら、職員の人件費につきましては、職員各自が複数の業務を担当してございますので、誰がどの業務に何時間携わっていたというような区分をしてございませんので、人件費の算出につきましては困難でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 これにかかった人件費、これも相当大きなものがあるのではないかなど、私は推測をいたします。

285台のスマホを配布して、実証事業の計画が、実際の予定が、実際に配布を受けた方が174名だったと。スタートから111名の協力が得られなかった。このことが集計結果に掲載されておられません。

アンケートの集計結果というのは、スタートにこういったことがしっかりと掲載すべきではないかと私はと思いますが、それはともかく、全戸配布に関する事業は、これにて全て終了と受けとめてよろしいですか。町長さんに伺います。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 このスマホ事業の結果を、今出しているところでございますが、今わかっている範囲の報告をさせていただきました。

すなわち、この全戸配布というのは、この実験が終了し、有益だと思われるということにつきましては今後検討していくことではございますが、今現在の参加者あるいは経緯につきましては、率直なところ、このスマホ事業、私60代でございますが、思ったより70代の方も積極的に、このアンケートの結果からは、必要性や利便性をよしとする方が多うございましたので、少し、私どもの想像よりも、このスマホ事業についてはお考えが期待していることはあるのかなというような感じは受けた次第でございますが、まずは携帯も一度も持ったことがない人や、初めて取り組むという人が、80代、70代には多くおりましたので、それらのデータに基づいて、今後、やはり先ほど課長が申しあげましたように、これらを検証するメリットはどうか、デメリットについても、今、どういったところがこのスマホに大きな欠点といえますか、足りないところがあるのかなというふうな思いもございまして、それらがクリアできなければ先に進めませんが、今は、現状はそんな感想を

申し上げるところでございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 5月29日の上毛新聞には、参加者37%、低調に困った、必要ないと住民には不評だったと、こう掲載されました。これが現実ではなかろうか。私はわかりやすい結論だというふうに思います。

きのうのテレビには、格安スマホの業者が220社、月額500円から利用できるというか、こんな宣伝もされていたのを見えています。

1業者のスマホに限定して自治体がかかわる、こういったことには、いかなものかなというふうに私は思いながら、います。

これ以上は、業者への協力と覚えてならない、終結宣言いたしませんかと質問したいんですが、町長、いかがでしょう。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 先ほども申し上げましたように、今、国の事業として、国がやはり、この今現在の日本のメディアのあり方を、国民的あり方にもって行く為の方法が、今現在始まっているということございまして、スマホに関しましても、非常に格安で、今、想定できる各地で災害がいろいろなところで起きております。

そういったところに、1人の死者も少なくするという手段としては、これらがやはり最有力ということで、国の施策として今挙げられてきておるんだというふうに解釈しておりますし、私どもも、この町の安全を確保するには、これは必需品になるということを想定できますので、それらにつきまして、進めるに値する、この地に合った事業を展開していくことがベターだと思っておりますけれども、その辺につきましては、先ほど申しましたように、これらの実証結果が出て、一つの会社というか銘柄というかにこだわるつもりはございませんし、やはり地域住民を優先とした経費の検討もしていきたいというふうに思っております。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 先ほど来、戸別受信機の設置数であるとか、下仁田インフォメール登録数あるいは歩数計、緊急通報システムの設置数等を伺ったのは、スマホ全戸配布でなくても、こういった事業を一生懸命進めていくことで、この地域の対策はとれるのではないかということをお願いしたからお伺いしてきたわけでありまして。

議会に諮らずに、業者との協定の締結に始まって、今、回答、ちょっと意味がわかりませんでした。意味が不明のまま次に進みます。

公約についてお伺いをいたします。

現状の認識と確認をしておきたいというふうに思います。

まず1点目。副町長さんの選任についてであります。8年前に公約されました、副町長を廃止する、そうした公約に反するのではないかと私は思うのですが、どういう見解でしょう。町長さんに伺います。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 話は戻りますけれども、先ほどの、意味がよくわからないけれども次に進むというお話で、次の項目に移ったようでございますけれども、またそれらを意味不明で新聞に、あるいは記事にしようということならば、きちっとあなたの考えを言っていただいて、わからないところはきちっと答えますから、そういうふうにしていただきたいと思います。思う次第でございます。

今、理解はできないけれども次ということでございますけれども、それらについて、私どもからその思いを述べさせていただきました。

今の公約についてを項目として挙げていただきました、その副町長の選任ということにつきまして、副町長の選任については、佐藤議員不在のときに、下仁田町議会27年3月の議会で、大多数、1人反対で同意をいただいて、選任をさせていただいたところでございます。

もちろん、そのいきさつにつきましては、8年前とは事情が異なっておりますし、それらを加味したことでございます。

したがいまして、公約的に申し上げますと、21年の公約は公約として実施されてきたというふうに、私どもは真剣に取り組んできたということで、経過を見たということでございますし、24年の町長選につきましても、また、公約は公約で5項目を公約させていただきました。

その折には、災害に強い安全なまちづくり、高齢者・障害者・子供が元気なまちづくり、次にはエネルギーの産出を目指すとかいうことのまちづくり、4番目に、地域ブランドと世界遺産、ジオパークを生かしながらのまちづくり、そして5番目には、効率のよい行政と町民連携で信頼されるまちづくりということをうたわせていただきまして、はや4年がもう少しで終わろうとしているところでございますが、そういった取り組みを公約と同時に推進してきたところでございまして、副町長の選任につきましては、そういうことで、今現在、国でも地方創生ということで3年目に入りましたけれども、それぞれのまちづくりをそれぞれが提案して作り上げていけど、こういうことでございますので、それには必要な人材、そういった人材が見当たりませんでしたので、27年度にはそれらの同意をいただいて、来る今の下仁田町

のまちづくりに必要な人材という形で、選任をさせていただいた経緯でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 そうですか。

8年前の公約、4年前の公約、今お話しいただきました。

私は、公約の取り消しはあり得ない、何年たっても公約は公約だと、公人たる政治家はそうではないかというふうに、私は思うのであります。

21年3月にここで質問をさせていただきました。21年3月には、副町長の廃止を含め、1,190万円の減額を見込むんだという意気込みでありました。

副町長さんというポストでしたから、この質問をここでするんですが、副町長さんでないポストであったならば、この質問はできなかつたであろうというふうに思います。

それはともかくとして、これ以上追及はいたしませんで、次の質問に移ります。

下仁田小学校へのアクセス道路の整備について、進捗状況はいかがであるか、現状の説明をお願いします。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 それでは、下仁田小学校へのアクセス道路の整備について、現況の説明をいたします。

小学校へのアクセス道路につきましては、現在、県代行で進めている仲町新道に接続する形で整備予定です。

現在の状況といたしましては、9月から現地の詳細測量に着手という状況です。でき上がった詳細の測量図をもとに、地権者への用地交渉が始まります。そういった状況です。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 21年3月にここで質問しているんですが、その当時は、現在検討中だと。7年がその後経過をいたしました。

町長さんに伺います。いつ完成する予定でございましょうか。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 議員ご承知のとおり、今、お話をしたとおりでございまして、この道路の問題につきましては、長い間、町の商工会初め地域の方々の要望を得て始めた道路が、それに併設をしております。

したがって、その道路の完成を目指して、今いるところでございます。

が、地権者の同意も得て測量に入らせていただきましたので、それらをもって、地域のご協力をいただけた時点を想定すると、早い機会にやりたいと思いますが、今のところはそういう経過で、時間がかかっておるといことで、その道路ができますと、小学校への道路もアクセスというか、今の道路の拡幅ができれば、学校へのアクセスは非常にスムーズになるということ、これまた災害や予期せぬ防災として、早目にやっていく必要があるということ、は常々感じておりました、鋭意努力中でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 道路ができれば、その後、小学校へのアクセス道路ができるというような答弁なんです、4年前の運動会だったのでしょうか、挨拶で、やがてこの校庭にバスを乗り入れますと断言、言い切ったわけでありませう。

小学校への乗り入れ、本当にできるんですか。町長さん、もう一度伺います。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 それらの発言につきましては、バスの乗り入れというのは、今現状でも小さなバスは乗り入れられるところでございますが、大型のバス自体が進入できないということございまして、それらの通学をする子供たちのバス利用というのは、確率的に高いし、統合当時の地域のPTA初め、方々の統合の条件に入れられておりますので、私どもとすれば、それらに向けて一生懸命汗を垂らしていくということでございます。

したがいまして、それらにつきましても、議員方々のご指導、ご協力をお願いしたいところでございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 発言からもう4年、5年もたっているんです。

あの言葉を聞いたときには、町長カッコいいなと思いましたが、期待されている方も多いうふうには思いました。

先ほど、9月から測量が始まるという答弁がございましたが、測量の承諾書はとったのか、測量に向けては承諾は必要ないのかどうか、その点について、課長、確認でお伺いします。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 お答えいたします。

測量についての承諾は必要でございますけれども、承諾書というところまでは、ちょっと必要はないかというふうには思います。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 先ほど町長の答弁に、同意を得たという、こういう言葉がちょっとございました。

2月10日に説明会があったと。その後には何の話もないよというふうに伺いました。

これだけ時間をかけても、了承していないという地権者さんがいらっしやいます。

2月10日から7カ月が経過し、その後における説明、お願いもない。まだ承諾もしていないと。

もう9月ですね、きょうも。測量が始まるんですか、これで。

こういう状況だというふうに私は受けとめております。

計画を進めるのか、やめるのか、地権者さんとよく話し合う必要があるというふうに私は思います。

完成しなかった場合においては、地権者さんの責任にはしないでくださいよということを申し上げておきたいと思います。

次に、下仁田高校への特殊専門学科の導入は、その後どうなっているのか、町長さんにお伺いするんですが、21年3月にも同じ質問をいたしました。

これは付加価値をつけていく、後には民営高校を考えるという答弁でございました。

その後どうなっているのかとあわせて、このことについて、学校や教育委員会、県の教育委員会、話し合いを持ったかどうか、この点についてどんな努力をされたのかをご説明いただきたい。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 ただいまの下仁田高校の問題でございますが、議員ご承知のとおり、当時から比べますと、高校の統合という議題が上がってまいりました。

それらについて、私ども首長として、会議に、数回という程度でございますけれども、結論を得るまでの会議に参加させていただきまして、その折にも発言をさせていただいたり、そういった経緯で今現在、県で進めている高校の統合の問題でございますが、下仁田町は高校が存続できるという経緯になりまして、今現在進行中でございます。

そういった努力を、発言をしてきたというところの経緯でございますが、公約的な21年3月の佐藤議員の質問に対しましても、回答は当時と全く変化はございませんので、回答とさせていただきます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 高校の再編という話も、数年前ありました。

私も、県のほうに意見書をつくって、幾度も団体で行きましたけれども、今質問しましたのは、町長が8年前にこれを掲げて立候補されて、公約されたことに対して、どのように汗をかいていただけたのですかという質問でございました。

理想を掲げたのみだったのかなと、今感想をしています。

次に、学校跡地の整備活用、体験学習、自然学習、地域振興の推進について、21年3月には、地域の特性を生かせる跡地利活用を基本としていくとご答弁をいただいております。

その後の進捗状況についてお聞かせください。

○議長 佐藤勇二 地域創生課長

○地域創生課長 永井邦佳 学校跡地の現況の状況でございますけれども、現在、旧青倉小学校につきましては下仁田自然史館ということで、ジオパーク活動の拠点となりまして、地形、地質、それから植物などの研究、それからジオパークの現地の調査活動の拠点として活用をしております。

また、ここには教育課のジオパーク推進係を置きまして、常時職員が業務に当たっているということで活用をしております。

次に、旧小坂小学校でございますけれども、下仁田町の教育資料館ということで、合併前の各小中学校の資料を保存・管理をしております。

ここにつきましては、申し込みをしていただきますと、この貴重な資料を一般公開をするという形で利活用をしております。

また、一部校舎内におきましては、下仁田町の社会福祉協議会の事務所として利用をしております、社協の活動の拠点となっております。

旧馬山小学校につきましては、既に校舎の取り壊しが終わり、現在更地ということになっております。

地元の利活用の協議会が組織されておまして、これまでに幾つかの利活用の、例えば太陽光発電等の検討をした経緯がございます。

また、皆さんご存じのとおり、政府機関の誘致についても働きかけを国に行ってきた経緯がございます。これについては、残念ながら、国の出先機関の場所ということで選定には至らなかったという経緯がございます。

現在、この協議会からは、地域のコミュニティー施設、あるいは地域の災害時の避難場所というような形での利活用をしてほしいという意見書をいただいているところでございます。

それから、旧西牧小学校、旧西中学校につきましては、旧の馬山小の跡地も含めまして、東京の少年サッカークラブの合宿地としての誘致活動をした

経緯がございます。

東京で、町長が関係者との協議をした経緯がございますが、いろいろな条件面での折り合いがつかず、最終的には誘致に至らなかったという経緯がございます。

特段、この旧西中学校と旧西牧小学校については、具体的な計画等については、ないのが現状でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 小坂小学校の2階の、私は、統合時代の椅子・机を入れている倉庫、極端に言うと物置という言い方をしてきました。

今、課長の答弁では、資料館、一般公開という説明がありました。一般公開して、申し込みがあって、この資料館に入館された実績、ございましたらひとつ発表してください。

○議長 佐藤勇二 地域創生課長

○地域創生課長 永井邦佳 これにつきましては、教育委員会のほうの下仁田町教育資料館管理運営に関する規則というところで定められておるところでございます。ただいまの質問の人数について、私のほうでは今把握をしている資料はございません。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 突然の質問で申しわけないです。教育課長さん、わかりましたら答弁いただきたい。わからなかったら結構です。

○議長 佐藤勇二 教育課長

○教育課長 大河原順次郎 今年度、一般申し込みもなしで、無料開放日も設けてやった経過はございます。

人数については、すみません。現在ちょっと手持ちの資料はございません。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 あまりしつこく質問していると、次にもう幾つかありますので、次に進みますが、下仁田消防署西牧分遣所の存続について、現状はどのような計画になっておるかを、総務課長さん、お願いします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 神戸哲 西牧分遣所の存続につきましては、現在、広域消防の再編につきまして、平成27年12月に検討委員会により自治会へ再編計画案について提案してございまして、承認を得ております。

同じく、12月の広域の全員協議会において報告し、了解を得ております。現在は、再編計画に基づきまして、1本部4署で進めているところでござ

います。

下仁田につきましては、平成37年度に完成の計画で、配置人員を現在の下仁田及び西牧で21名のところを、再編後は23名に、救急車は現在と同じ2台に、消防車は現在合わせて3台を2台にし、平成38年度に西牧分遣所を閉鎖するとする計画で進めてございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 西牧分遣所が38年、10年後ということでしょうか、閉鎖となるんですか。

これについて、町長さんも西牧、今の分遣所の存続を公約されたと、4年前と思いますが、どうなったのでしょうか。お伺いします。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 西牧分遣所のお話は、数年前から話が始まりまして、消防署のより地域に合った、また署員の数等々の削減を国から指示されての話でございまして、当時、議会から代表ということで、下仁田町から議員の皆さん、あるいは区長さん等指名がございまして、検討委員会というのを立ち上げて、協議してきていただいたということでございます。

その折にも、首長としての意見というのが反映というか、会議に入らなかったもので、その経緯については発表というか、ある程度こういう思いでということを知ったときに、初めて、そういうことではまならぬと。

やはり、消防というのは、地域性を加味して、いち早く住民の期待に応えられる活動ができなくてはだめだということで、それらの方向性はほごになりまして、再度、また再計画という形で、今、総務課長がお話しをしたとおりでございます。

したがって、それらの存続については、地元の人たち、区長を初め、議員各位からのご支援、ご協力をいただいて、存続の方向で今まで来たという経緯でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 4年前には、私も、今言われた再編計画の諮問の委員に当たった時期もありました。そのときに、西牧分遣所が統合されると、大変なことだということで、当時私も感じて、私も表明した時期がございました。

その後、町長さんも、存続ということを書き立てられていました。

こういう時期があったかというふうに思いましたので、この質問をさせていただきます。

より地域に合った、甘楽富岡の地図を広げて真ん中を指差すと、この場所

になるんです。そのくらい下仁田は広いということを念頭に置いてほしかったなというふうに思いながらいるところでございます。

時間がなくなってしまうます。次に進みます。

下仁田厚生病院の現状についてであります。

あと1点、質問の前に状況を、確認のために、健康課長さん、前病院事務部長さんがいらっしゃるのをお伺いしたいんですが、議長、いいかどうか、また後ほど判断をいただきたいと思えます。

岡田町長時代、下仁田厚生病院の再生計画をつくり、行財政改革を行いました。

群馬県退職金共済組合を脱退する判断をして、手続をとったと。これによって、金井町長さんになってから7億円の還付がありました。それまでの累積赤字7億円が解消されたと、その時期があった。

そしてまた、その脱退後、共済組合のおおむね1割程度の事務経費負担が軽減された、なくなったというふうに私は理解しています。

そしてその数年、21年、22年度には、病院が黒字経営ができたという時期があったと思えますが、間違っているかどうか、ここを健康課長さんにお伺いしたいんですが、議長、よろしいでしょうか。

○議長 佐藤勇二 病院議会は、病院議会の独立した議会がありますので、余り深く入らなければ、現状のみならばよろしいかと思うんですけれども。

○7番 佐藤博 今私が発言したことに対して、間違っていないかどうかを確認だけ、課長さんに伺ったんですが。

○議長 佐藤勇二 確認だけだから、合っていれば。健康課長

○健康課長 荻野英雄 議長のほうからお話ございましたけれども、確認ということで、私がこの3月まで、病院で前事務部長ということで勤務しておりました。

私の認識では、先ほどの21、22二カ年の黒字というのは認識をしております。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 それまでには、そうした努力があつて、結果として厚労省から病院建設に向けた方針が認可されたと、私は認識しているんです。

ところが、病院の建設とあわせたかのごとく、再び赤字に転落です。

現在は15億円の累積赤字。今後は借金経営の可能性も出てきた。また、数年後の存続を懸念する状況であると、私は今思えてならないんです。

町長さんの公約には、病院経営に対する理想を掲げたというふうに思っ

おりますので、そのことについて、どんな努力をされていただけたのかどうかをお伺いをしたいと思います。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 病院の件につきましては、佐藤議員の全くの誤解でございまして、私が町長に就任してから脱退したところでございます。その辺は誤解がないように。

そしてまた、病院のことについては、発言は控えさせていただきます。

しかし、地域の医療として、やるべきことは必要なところに投資をし、住民が1人でも安心して暮らせるまちづくりを目指してきましたので、それらについて、病院の建設をしたところでございます。

それらは、大きな目標でございまして、地域の安全をぜひ、先生方とともに、安心・安全なまちづくりということで進めてきた、大事な事業を成功させたというふうを考えておりまして、今の病院議会の内容については控えさせていただきます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

○7番 佐藤博 承知しているところであります。私も、病院議会の内容についての質問は、今しているつもりはございません。

町長が公約した病院経営に対しての、今質問をしていると、こう理解をしていただきたいところでありますが、私の質問と食い違ったようであります。最後に大事な質問がありますので、そちらに移ります。

産廃問題、特命機構をもって真相の究明をすると断言をいたしました、財産取得調査委員会の調査結果について、これはスタートから町長さんにお伺いいたします。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 私どもの発言の中でのお話ですから、答えさせていただきます。

話はさかのぼりまして、平成17年ですか、この庁舎の裏山の土地の取得について、皆さんの議会の同意を得て取得したということで、お話をお伺いしてきました。

そこに至る経緯の中で、当時、私どもの町長としての判断で、内容的なものを知りたいということで、調査委員会を設立させまして進めてきたところでございます。

細く申し上げますと、非常に町の財政に大きな影響を及ぼすということで、大変な町民のご協力もいただいたり、関心もあつたりというところがございます。

それらをやはり解明し、その後の15年間の返済をしていくということの経緯について、やはり正しく理解をしていただいて、町民に理解をしていくことは大事だろうということで始めたところでございます。

それらの問題につきましては、数回調査をさせていただいたということは、前にも申し上げたところでございます。

この調査のきっかけとなるもとは、大きな地域活性化の住民生活等緊急支援交付金、こういうものをいただいたり、また、県債で充てていただいたり、また、ちょっと待ってください。ちょっとすみません。

(発言する者あり)

○議長 佐藤勇二 時間はその分だけ延ばしますので、大丈夫です。町長

○町長 金井康行 地域活性化事業債または県貸付金等々を充てまして、それらの購入に対する予算をつくったということでございます。

ちなみに、当時の起債は、元金3億4,470万円、当時の利息を想定しますと、3億9,326万8,000円余りという数字が起債で残ったわけでございます。

現在、27年度末までの支払いにつきましては、2億5,480万7,000円、こういうことが支払いされておまして、残すところ、平成33年までに、これからお支払いしていく1億3,846万1,000円何がしという数字を、今返済をしているところでございます。

したがいまして、そういった長期間にわたっての返済をしていくということにつきまして、町民に理解をいただくために、調査委員会等を設けまして、調査をしていただいた経緯がありますが、それは佐藤議員がお尋ねになりました、当時の一般質問の時から状況につきましては、当時の答弁と同じということで、以後、進展をしておらないというのが現状でございます。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

ロスタイム入れて、あと1分10秒ぐらいです。

○7番 佐藤博 町長、真相を究明をすると断言したのは、今、答弁いただいた内容と全く別のところのことではなかったのかなというふうに、私は思っています。

時間がないということなので、端的にもう1つか2つお伺いしたいんですが、23年の3月にも質問しているんです。

その後の会議を何回されたか、23年3月に一般質問しています。その後、会議は何回開催されているか。

それと、まだこの委員会は存続しているんですか、解散したんですか。こ

れ、総務課長さんにお尋ねします。

○議長 佐藤勇二 残りはあと20秒ぐらいですので、早目に答えてください。総務課長

○総務課長 神戸哲 23年の5月1日に6回目の調査委員会。だから、23年度に1回の調査委員会を開催いたしまして、その中で今後の委員会について、新たな事実に基づく調査事項があったときにおいて、再度委員会を招集するというので、現在に至ってございます。

○議長 佐藤勇二 もう時間でございますので。佐藤博君

○7番 佐藤博 そうすると、まだ現状、その委員会は解散していないということなんですね。

最後の質問になると思います。5年6カ月が経過している。

○議長 佐藤勇二 佐藤博君

時間オーバーでございますので。

○7番 佐藤博 もう解散して、宣言してください。これ最後の質問です。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 金井康行 先ほど申し上げましたが、今後1億3,800万円の、まだ負債が残っております。

それらが解決し、町民からそれらのご判断をいただいたときに、これは解散に値する時期になるかというふうには考えますが、現在、それらの穴埋め、町の執行後、一生懸命、この起債に充てているために努力をしております。

ちなみに、副町長の今現在の、副町長だけではございませんが、誘致してからの実績といたしましても、地方創生関連で1億5,000万円、そして、町の受ける補助金や地方創生特別枠に約2億円を、今現在それらの経過として予算組みできているということ、事実を申し上げて、答弁とさせていただきます。

○議長 佐藤勇二 時間です。

○7番 佐藤博 大変ありがとうございました。終わります。

○議長 佐藤勇二 すみません、通告時間範囲内の質問でございます。

現在、ロスタイム入れても2分のオーバーでございますので、注意をしておきますので、今後は気をつけていただきたいと思います。

以上で一般質問を終結いたします。

○議長 佐藤勇二 本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

大変ご苦労さまでした。

散 会

平成28年9月6日

午前11時10分